

民生福祉常任委員会会議記録（条例審査）

1. 日 時	平成31年 3月 6日 11時10分開会 平成31年 3月 6日 14時51分閉会
2. 場 所	401・402会議室
3. 出席議員	大西基雄、小島政行、河南芳治、向井千尋、前田えり子、森本富夫
4. 欠席議員	なし
5. 議会事務局職員	中瀬文隆主査
6. 市部局	○保健福祉部： 倉部長、三宅課長、松本副課長、伊東課長補佐、宇杉係長
7. 参考人	なし
8. 傍聴人	なし
9. 会議に付した事件	議案第13号 篠山市介護保険条例の一部を改正する条例 議案第14号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
<p>開会 11:10</p> <p>【委員会】</p> <p>大西委員長 挨拶</p> <p>【地域福祉課】</p> <p>日程第1、議案第13号 篠山市介護保険条例の一部を改正する条例について</p> <p>三宅課長より、議案第13号説明資料に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑等＞</p> <p>前田委員 消費税の引き上げに伴い、低所得者に対する介護保険料を軽減しようとするとのことであるが、消費税が引き上げられなかった場合も軽減措置を講じるのか。</p> <p>伊東課長補佐 当該議案が可決された場合、少なくとも平成31年度は軽減措置を講じ</p>	

ることになると考えている。

【医療保険課】

日程第2、議案第14号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

田中課長より、議案第14号説明資料に基づき説明

＜主な質疑等＞

小島委員 基金繰入により、平成30年度と同様の保険税額にするとのことであるが、平成32年度の基金運用についてはどのように考えているのか。

田中課長 保険税率については、県から通知される健康保険事業納付金により、各市町村によって決定している中、平成32年度の基金運用については、県から通知される納付金額を踏まえた上で検討していくことになる。

小島委員 将来的な保険税率の見込みなど、基金運用の考え方も踏まえて説明いただきたい。

倉部長 医療費の動向から保健税率を下げることは想定しにくいと考えている中、基金運用として、仮に、数年に渡って平成30年度の保険税水準を維持するようにした場合、基金が枯渇した際の反動が大きくなり過ぎることが危惧される。医療費の動向を丁寧に追いながら、医療費に応じて被保険者に一定の負担もいただく等、適切な基金運用を図っていきたい。

■表決

議案第13号 篠山市介護保険条例の一部を改正する条例

— 賛成全員で可決 —

議案第14号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

— 賛成全員で可決 —

■その他

(閉会)

向井副委員長 挨拶

14 : 51 閉会

平成 31 年 月 日

民生福祉常任委員会

委員長

印